

演題      インプラントを用いた咬合再構成の一症例

A case report of full-mouth reconstruction with implant

演者名      八田知之

日付          2014年9月30日

Keywords

1. 歯根破折
2. 診査・診断
3. Planning wax up

患者概要

患者は53歳、女性

主訴

治療の続きをして欲しい

修復治療終了後、歯根破折等にて欠損が増大し、再治療を余儀なくされる症例が存在する。歯根破折の原因は様々であると考えられるが、多くは歯牙への負担過重や咬合関係が原因と考えられる。そのため、再治療の際は咬合診断は顎位の変更等の処置が必須となる。

今回の症例は、吉永歯科医院にて2009年5月14日に治療終了し定期的なメンテナンスに移行していたが、歯根破折を認め、治療の再介入となったケースである。

再度、診査・診断を行いなぜ歯根破折を起こしたのかを自分なりに考察し、治療を行っております。

治療途中の症例ではありますが、今後の治療の計画等、諸先生方のご指導を仰ぎたいと考えております。